
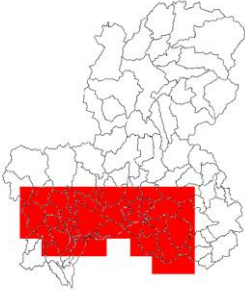


マキエハギ	<i>Lespedeza virgata</i> (Thunb.) DC.	準絶滅危惧
		マメ科
選定理由	もともと生育地も個体数も少ないうえに、生育環境が悪化している。	写真(須賀瑛文) 
形態の特徴	茎は斜上し、高さ30-60cm。枝は細くて硬く、角張っている。葉は3出複葉。小葉は楕円形。花は白色で基部に赤斑がある。葉腋から葉より長い花序を出し2-5花をつける。萼裂片の先は細長く尖る。豆果は広卵形。	
生態的特徴	マメ科の半低木。花期は8-9月。道端の草地や岩地に生える。	
分布状況	本州から沖縄に分布し、朝鮮、中国大陸に分布する。岐阜県では、県南部に稀に見られる。	
減少要因	農業従事者の減少によって、耕作地やその周辺の草地環境が減少したこと。また、里山の自然遷移が進行して日当たりのよい乾燥した環境が減少したこと。さらに、花が美しいため園芸植物として採取される恐れもある。	
保全対策	草地環境の保全。農地の周辺や用水路わき、溜池の堤防などの草地を維持するために、生育地の適度な草刈りや、周辺の樹木の伐採など。	
特記事項		
参考文献	原色日本植物図鑑・草本編Ⅱ 保育社 1961 日本の野生植物草本Ⅱ 離弁花類 平凡社 1982 三重県レッドデータブック2005 植物・キノコ 三重県 2006	

文責:福岡義洋